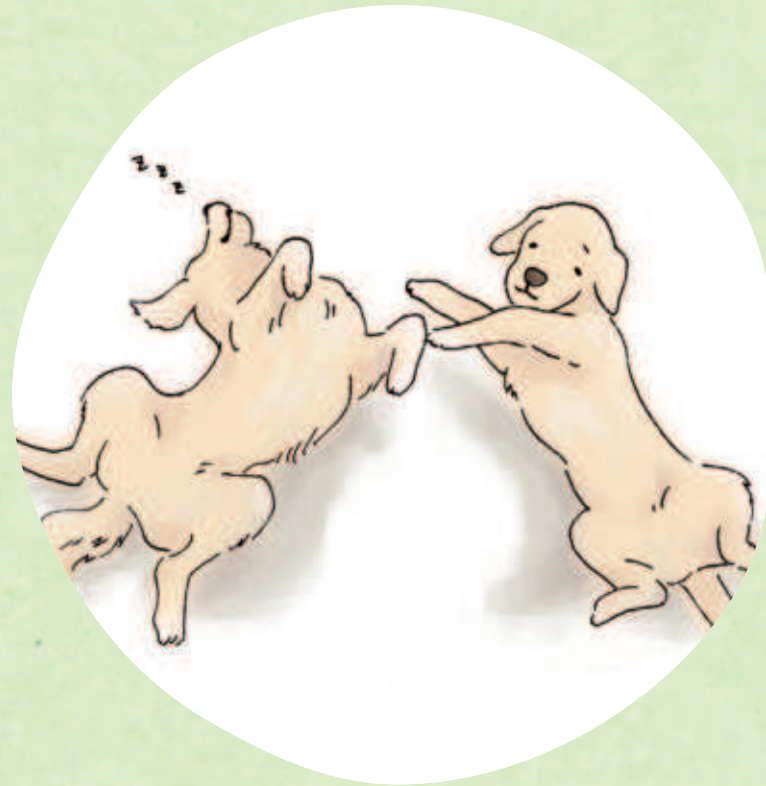


# 空の里だより<sup>∞</sup>

NPO法人地域福祉支援センター ちいさな手 第11号



- 続報 新得町権利擁護包括支援体制整備事業
- ちいさな手と私
- ちいさな手のお仲間
- ちいさな手 スタッフ紹介
- コラム「風の言の葉」
- 時の旅 今昔

【第11号】

2019年4月26日 発行



1/24 第2回練習  
支援高校の水野先生と  
岩田先生と一緒に



2/4 本番一日前の総練習



第4回 学習会町民向け  
成年後見創作劇  
「それでも私はこの町で  
生きてゆく」

2月5日(火)に行われた創作劇は、  
関係機関10団体・有志36名の協力  
を得て、町民151人の方々に観賞し  
ていただきました。

1/15 第1回練習  
セリフの読み合わせ  
及び立ち稽古



第3回学習会  
「権利擁護に関する地域連携  
ネットワークとは」

日本社会福祉士会理事 鹿嶋隆志氏を  
お招きして日本の動向を聴くと共に町  
内の関係機関の方々とシンポジウム  
を行いました。あいにくの雪で荒れた  
天候ながら町内外から120人参加があ  
りました。



続報

新得町権利擁護包括支援体制整備事業

2018年度成年後見制度の利用促進を図るため  
に整備事業を受託したことを第9号でお知らせいた  
しましたが、今回その続報をお伝えいたします。  
第1回学習会5月30日73人、第2回学習会3本の  
寸劇には91人の参加者がありました。第3回、第  
4回の学習会には100名を超す盛況になりました。





お疲れ様でした!

終了後の打ち上げも  
盛り上がりました。



5月28日屈足公演に向けて頑張ろう!!

この整備事業は2019年度も続きます!



会場の風景。  
たくさんの方が集まってドキドキ。

☆☆本番のワンシーン☆☆



民生委員役の石上さんと、  
シズ役の安達さん。



息子の一夫役は横倉さん。



本番前、楽屋で坂田福祉課長の  
の激励を受けました!



原作者・清野祥子理事長、脚本・高野  
めぐみさんの東北福祉大学の先輩後輩  
コンビから、感動作が誕生しました



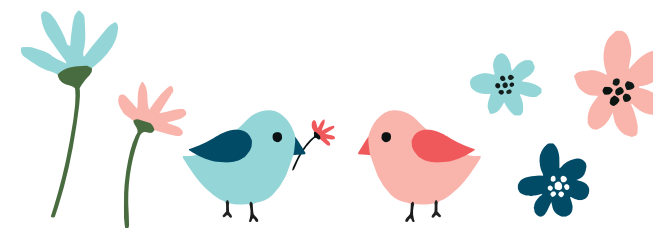
## ちいさな手と私



宮崎 洋子さん

慶子ちゃん(三女・小2)

今回は、御影大貫寺の宮崎さん宅に伺いました。  
洋子さんは社会福祉士として、  
地域の福祉に関わっています。



ちいさな手とは、21年ほど前からのお付き合い。十勝社会福祉士会の立ち上げの際、祥子さんが「一緒にやらないか」と声をかけてくれたのがきっかけだった。

当時、結婚を機に清水町へ移り住んだばかりで知り合いも少なかったので、とてもありがたい誘いだだった。年代は違うけど、祥子さんは大学の先輩。私も福祉の道を志して学んでいたから、地域の福祉に携われることもうれしかった。

お寺のことや子育てをしながら、総会には顔を出している。福祉士会のメンバーと集まれる日は同窓会のような雰囲気、とても楽しい。祥子さんがママに連絡をくれるので、福祉に関する勉強会にも出席できたりと、本当に感謝している。

ちいさな手が設立した頃、何かできることはないかと、座布団を寄付したことがあった。祥子さんが「今も大事に使ってるよ」と教えてくれて、懐かしく思った。これからも、ちいさな手のことを応援していきたいし、自分のできることで協力しながら、地域の福祉と関わっていききたい。

立派な椅子は、木工が得意なご主人の慶秀さんの手づくり。  
革小物など、何でも作ってしまうのだとか。



裁縫が得意な洋子さん。裁縫箱は嫁入り道具で、箱を乗せている台は、ご主人の慶秀さんが作ったもの。



額田 幸子さん

額田さんより

スタッフ一人ひとりがいつも一生懸命だから、本当に気持ちよく働くことができましたと思います。そして皆、頑張るだけではなく、楽しむ気持ちを大切にす人たち。私も一緒に「楽しんでくれるかな、喜んでくれるかな」と、忘年会の日には仮装をしたり、踊ったり、色んなことをしましたね。皆が笑って喜んでくれる姿を見られて、大満足でした。ちいさな手の皆さんと働けたことを、今でもうれしく思っています。

額田さんは、3年ほど前にたまたま箱のスタッフとして関わってくれた人です。看護師をしていて、好奇心や元気であふれる額田さんは、地域の人気者。一緒に働きたくて、何度もスカウトしました(笑)。夜の会議前に「皆お腹空いてるでしょ」とおにぎりを持ってきてくれたり、自分の着物を崩してレクリエーション用の衣装を作ってくれたり、その明るさと優しさに何度も助けられてきました。





ちいさな手

## スタッフ紹介



理事長

清野 祥子 さん

福島県出身

福島県で生まれ、祖父母と家族3世代で暮らしていた祥子さん。その生活の中で家族が課題を抱える姿をみて、「福祉のことをちゃんと考えたい」と思い、仙台の大学へ進学した。

そこで光彦さんと出会い、結婚し、ひとつの夢を持って、新得町へ。20代後半から30代前半にかけて、自分の力や時間のほとんどを、ちいさな手設立のために費やした。

設立から20年ほど経った今、その頃を振り返って、「やっぱり大変なこともあったけど、不安はひとつもなくて、とにかく楽しかったの」と、いつもの明るい笑顔で話す祥子さん。その笑顔を支えたのは、光彦さんや仲間たちの存在だ。

まだ社会で活躍する女性が少なく、苦勞した場面もたくさんあった。それでも祥子さんは、「介護には女性の目線が大切だ」と、周りの仲間たちと共に、前を向いて、進んできた。

「人との繋がりが宝物」。どんな時も相手を思うことと感謝を忘れず、笑顔あふれる祥子さんだから、その周りに、あたたかい人と人の輪ができていくのだろう。



60歳の誕生日に、光彦さんから贈られた60本の赤いバラ。ドライフラワーにして、事務所の玄関に。

眠る前に、iPadで映画を見るのが日々の楽しみ。番組ガイドで、観たい映画をチェックする。



好きだと公言していたら、たくさんの方が贈ってくれたというコレクション。頭に手ぬぐいを巻くのが祥子さんのお仕事スタイル。

# 風<sup>かぜ</sup>の言葉<sup>ことば</sup>の葉<sup>は</sup>

4 月1日新元号が「令和」と発表された。私自身、どういう元号になるかという関心はあまりなかったが、多くの国民の関心事であったことは間違いないだろう。

「昭和」が終わる時感じたが、一つの時間の区切りという意味では、元号が改まるという事は気持ちの切り替えに有効だと思う。

ポジティブに考えると、これから迎える新しい「時間」に未来を託し、そこに「夢」や「希望」が垣間見えるからではないだろうか。

丁度よいタイミングなので、この機会に、私にとつての「昭和」の終わり、「平成」の始まりは、果たしてそういう「時間」だったか、そしてその後の平成という時間を少し振り返ってみることにしたい。

昭和64年≡平成元年頃まで時間を戻す。私達社会福祉に携わる者の国家資格「社会福祉士、介護福祉士法」が成立した年が、昭和62年（1987年）5月なので、昭和の終わりがまさに新時代の到来を予感させる時期だったと言っているのではないだろうか。

この頃、ある研修会で「社会福祉士」を取得したら他の士業と同じように独立という道が開けるかもしれないと聴かされて、「よし福祉で事業を興すことが可能になるなら資格取得に挑戦してみよう

か」と思い立つに至った。その頃は、30歳前後で、お金はなかったが若さに任せた勢いは十分すぎるほど持っていた。妻と二人で順番に養成校に入り直し資格を取得し、「独立」する事を夢見て構想を練り、理想とする土地を探して家を建て、あつという間に平成12年の介護保険法の施行を迎えた。

「地域で普通に暮らす」新しい福祉のあり方へのこだわりを介護保険法の中に見つけることができた私たちは、同時期に成立したNPO法を利用して念願だった「独立」を果たすことができた。

それからの約20年は、文字通り一気に駆け抜けた感が強く、気が付けば「平成」が終わり、「令和」に移行しようとしている。

今思えば「平成」は、私達夫婦の人生にとつて、またちいさな手の歴史にとつて本当に活力にあふれた素晴らしい時期として歩ませていただいたと感じている。

元号が代わったからといって、何かが変わるわけではない。時間の流れは、何もしなくても刻々と刻まれてゆくものであるとすれば、その時の流れに意味を持たせようとするのはやはり、その時代に生きている「人」の願いや想いの強さなのではないかと思う。

あと少しでやってくる「令和」という時代にも、私達がバトンを託す者たちにとつて、念ずれば必ず叶う「夢」や「希望」が星のように散りばめられていることを願って止まない。



利用者

白取銓六さん  
すみ子さん  
ご夫妻

約  
40  
年  
後



甥っ子さんの結婚式にて。  
お祝いの日、2人とも晴れや  
かな表情です。



今も新得町のご自宅で、  
2人で寄り添いながら暮らしています。



# 今昔

時の旅  
いまむかし

過去があるから今があり、  
今があるから未来がある。  
愛燦燦とふりそそぐ  
とっておきの一枚をお届けします。



利用者

安楽  
正晴  
さん

約  
50  
年  
後



農業一筋に頑張って  
いた45歳頃。



95歳を迎えた現在の  
1枚。ニコッと明るい  
笑顔が素敵ですね。



特定非営利活動(NPO)法人  
地域福祉支援センター

「ちいसानテ」



〒081-0038 北海道上川郡新得町西3線50番地15  
T E L 0156-69-5560 F A X 0156-69-5561  
相談専用 0156-69-5570

E-mail [nposcswc@chive.ocn.ne.jp](mailto:nposcswc@chive.ocn.ne.jp)  HP <http://npochiisanate.jimdo.com/>